

令和5年度(2023年度)兵庫県ビームラインの運用について

令和5年4月からの兵庫県ビームラインの運用体制が決まりましたので、お知らせします。特に、支援体制が変更となる BL08B2 の SAXS 及びイメージングについては、ご留意下さい。

1 提供手法と支援スタッフ

	提供手法	利用条件	支援スタッフ
BL08B2	SAXS イメージング	JASRI スタッフと調整 (受託測定不可)	JASRI スタッフ
BL24XU	タイコグラフィ コヒーレント回折	2022 年度からの継続案件 のみ	高山准教授 (東北 大)
	トポグラフィ	従来どおり	津坂准教授
	イメージング	標準手法	籠島教授
HAXPES-Lab		従来どおり	吉村スタッフ

※令和5年度(2023年度)から利用不可となる手法

(1) BL08B2: トポグラフィ、XRD (X線回折)

(2) BL24XU: Aハッチ (USAXS および μ SAXS)

※BL08B2 の SAXS、イメージング以外につきましては、従来どおりの申請手続きから変更はありません。受託測定も対応可能です。

2 BL08B2: SAXS、イメージングの利用方法

(1) 支援スタッフ

高輝度光科学研究センター (JASRI) スタッフが担当します。

(2) 利用申請

「年間利用申請」と「追加申請」の2種類となります。

① 年間利用申請

「兵庫県 BL 課題申請書 (年間利用)」をご提出ください。この申請書をもとに年間を通じて固定した支援スタッフと事前打ち合わせをします。追加申請よりも実施日程調整の自由度が比較的高い制度です。

・提出先: 放射光研究センター事務局

・提出期限: 3月23日 (木)

兵庫県 BL 課題申請書 (年間利用) には、利用内容の概略及び年間を通じた希望利用スケジュールを記入してください。利用スケジュールは年6回募集を行っている共用ビームラインの利用期 (2023A 第1、第2、第3期、2023B 第1、第2、第3期) と同期して、各利用期単位で調整しますので、どの期の利用を希望されるかを記載していただきます。申請後、申請内容をもとに担当する支援スタッフが実施内容の技術的可能性及び詳細、利用スケジュールについて打ち合わせさせていただき、実施の可否、暫定スケジュールを作成します。この年度当初に作成する暫定スケジュールでは、利用期を確定し、各期内の暫定利用日数を決めます。その上で各期のスケジュール調整時にご希望を再確認して再調整します。

なお、各期のスケジュール調整で実施日程が確定した後のキャンセルについて

は、キャンセル料は発生しませんが、実施日1週間前までにご連絡ください。

また、年度当初に確定する暫定スケジュールで決めた利用期に加えて新たに利用期を追加したい場合は、後述する「追加申請」で新規にご申請ください。

② 追加申請

支援スタッフの対応が可能な日に限り利用できる制度です。年間利用計画が立てられない場合や、突発的な利用が必要な場合など、年間利用申請以外は全て追加申請となります。利用可能な日程が確定次第、事務局より募集開始を案内しますので、利用希望時期に応じて「兵庫県 BL 課題申請書（追加）」を事務局までご提出ください。

（3）利用手続き

「利用手続きフロー」をご参照ください。

（4）利用日程の調整方法・時期

①年間利用申請

兵庫県 BL 課題申請書（年間利用）をもとに年度当初に担当の支援スタッフと調整した暫定スケジュールの利用期ごとに再調整します。このため、希望される利用期の1～2ヶ月前に日程調整を行います（年6回）。

利用時期は年6回募集の共用ビームラインの利用期と同期します。各利用期の時期は以下の通りです。（B期は見込み）

- ・2023A 第2期：2023年5月下旬～7月上旬
- ・2023A 第3期：2023年7月上旬～8月1日
- ・2023B 第1期：2023年10月上旬頃～11月中旬
- ・2023B 第2期：2023年11月中旬頃～12月中旬頃
- ・2023B 第3期：2024年1月中旬頃～2月上旬頃

<日程調整例>



②追加申請

兵庫県ビームライン稼働日のうち、支援スタッフの対応が可能な日に限り利用できます。この利用が可能な日程は各利用期の共用 BL のスケジュール調整が完了後、確定しますので、利用期ごとに利用可能日程が確定次第、事務局より募集開始を案内します。